

コア業務純益3.2%増

大垣西濃信金、運用収益増

3月期

大垣西濃信用金庫(大垣市)が17日発表した2025年3月期決算は、資金運用収益の伸びなどで、本業の収益力を示すコア業務純益は前期比3・2%増の20億7100万円だった。経常収益は3・7%増の94億5900万円。預金利息の増加や国債等債券の売却損、償還損が増え、経常

利益は38・6%減の13億9100万円だったが、繰り延べ税金資産を計上して法人税等調整額が減少し、純利益は0・4%増の15億7300万円を確保した。期末貸出金残高は法人需要の伸びなどで1・7%増の3665億8700万円。期末預金残高は個人向けが増えて3・7%増の8

071億1400万円。貸出金、預金とも創立100周年のキャンペーン効果などがけん引した。いずれも過去最高。

非常勤理事に就いたと発表した。同日開催の総代会と理事会で決定した。北久志常勤理事は退任した。

財務の健全性を示す自己資本比率は0・01%上昇の14・64%。金融再生法ベースの不良債権比率は0・57%改善の3・88%だった。26年3月期の予想は公表していない。

役員人事を発表

大垣西濃信用金庫は17日、弁護士服部充裕氏が